

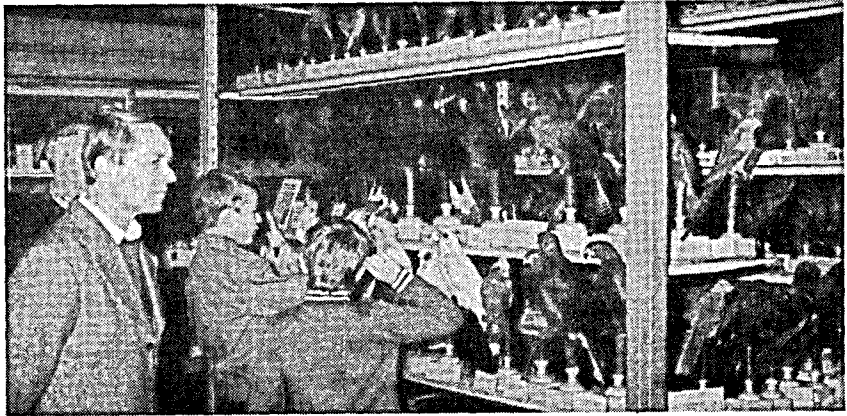
No. 74

1986.

5. 31

岐阜の博物館

▽501-32 関市小屋名
(百年公園内)
岐阜県博物館内
岐阜県博物館協会
TEL (05752) 8-3111 (代)
振替 名古屋 6 37909



実物資料こそ博物館の生命基盤

ハバロフスク・モスクワ・レニングラードとソビエトの郷土博物館、動物学博物館を駆け足で巡って参りました。共産圏の博物館とはどのようなものか大変興味がありましたし、厳冬のロシアの寒さを体験し、タイガの中にたたずみたいとの夢もあったからです。

わずかの見学時間で、日常の活動がどんなであるかは、深く知る術もなく、常設展示を見た限りから次のような印象を強烈に受けました。『博物館とは、つまるところ実物資料が生命基盤』ということです。

日本の展示技術の進歩は凄まじいものがあり、複製展示、映像展示、音響効果と、少しばかり華々しすぎるくらいで「もの無し」展示を助長している観があります。展示構成にドラマ性があり、展示効果を挙げるべく科学の先端技術が多種多様に駆使されている点では、日本の博物館界の方が進んでいるとの見方もできそうです。ネオンサインも宣伝看板も、何ひとつない静かできれいな街中に、これが博物館かと疑いたくなる建物がひっそりと建っています。ところが、一歩足を踏み入れると、なるほどこれが

博物館だとウナラされてしまいます。展示シナリオは、どこもオーソドックスな分類展示で、目新しさはないけれど、渾身の経費がかけられていることがわかります。原生動物から哺乳動物に至るまで、分類体系順に膨大な実物標本資料が展示されていました。日本では過去のものとして忘れ去られようとしている分類展示が、見ていて実に楽しいのです。中央には、代表種の生態がジオラマで示され、その周囲に実物図鑑の如くに「もの」がビッシリ登場してきます。海鳥の生態、コウノトリの巣等の生態ジオラマの周辺には鳥類のはく製、オオカミの家族、トラの生態ジオラマの近くには哺乳動物。磯のジオラマ周辺には魚類や海産動物というように。

映像も音響効果もないけれど、これこそ博物館の本筋ではないかと、その原点を見る思いでした。真冬の-9℃~-20℃という気温の中を家族連れや子供たちばかりの入館者も多く、若い兵隊さんの楽しげな姿もみられました。

自然展示には政治色が出る幕もなく、圧倒的に豊かな「もの」の迫力は実に壮観。ただ、ただ感動し、感嘆する博物館めぐりでした。(M. I)

障害児の博物館学習

笠松小学校 神山博之

「これ見て。これなあに。」大きな声である。博物館に入るなり1年生の男の子が、入口正面に展示してあるナウマンゾウの全身骨格にとびついた。この子の後を追うように3年生の男の子も近づいて行った。

これは、障害児6名と担任2名とが取り組んだ岐阜県博物館における博物館学習の一コマである。この学習について述べながら、障害児にとっての博物館を考えてみる。

1. 参加障害児の実態

本校障害児学級は、精神薄弱児学級(3名)と情緒障害児学級(3名)の2学級(計6名)からなる。1年生, 3年生, 4年生, 6年生が各1名、そして5年生が2名である。

ひらがなの読めない子3名の子を考えると、博物館展示物の説明は教師自らが行わなければならないし、動物以外には関心が薄いことから見学内容も十分に工夫しなければならない。

2. 博物館学習の目的

私達担任は「障害児にとって必要な公共の施設の利用」のために、どこまで博物館が活用できるかを見極めるため3回の下見をするなかで次のような博物館学習の目的をもった。

- (1) 静かに、走らず、触れずに自然展示室1・2の見学をする。
- (2) ビデオ・スタディコーナーでのVTRの学習をする。
- (3) 郷土学習室で貝・石・虫調べをする。
- (4) 視覚障害者コーナーで直接手に触れて自然や文化に親しむ。

人文展示室については、子供達の興味が生き物に強いことを考え今回は省いた。

学習時間は1時間を予定した。昭和60年10月4日、笠松駅から電車と徒歩での計画である。

3. 事前のとりのくみ

博物館の許可を受けて撮影した展示室内のVTRを子供達に見せ、何を自分の目で見、手に触れたいかを聞いていった。やはり、大型動物が見たいことと、ビデオ・スタディコーナーのVTRには興味を示した。

そこで、博物館学習の約束(静かに、走らず、触れず)をするとともに、次のことを決めた。

- (1) 自然展示室1・2は全員で順序よく見る。
- (2) 見たいVTR番組を1人2本決め、メモのとれる子はとってくる。
- (3) 貝・虫・石調べも絵にしておく。
- (4) 視覚障害者コーナーでは触れてもいいが順番を守る。

そして、(2)(3)のための記録用紙を用意した。学芸員の先生方にもご指導をいただいた。

4. 学習の様子

- (1) 入口では・・・

一番初めに書いたように、ナウマンゾウの全身骨格に目が行った。すぐ近くで上を見上げる。私が「昔いたゾウの骨だよ。」と言うと、「骨」とだけ言って次へ。

- (2) 自然展示室1では・・・

入口付近に比べ中は少し薄暗いので、ちょっと中をのぞいてから入る子もいた。が、入ればやはり大型動物に目が向く。約束はしていたも



のどうしても我慢できなくなり、というよりごく自然に触れたくなったのであろう。自分の手で確かめたいのが子供であり、とうとうツキノワグマのおしりに手がいった。



デスマスチルス・ツキノワグマ・オオツノジカには興味を示すが、あとのコーナーはあまり見ようとならない。ブナの原生林のコーナーではクマタカに捕えられたテンを見て、「きつねさん、かわいそう。」と、子供らしい優しさが出て少しは興味を示したが、1つのガラスケースの中に同じ色あいの動植物が多すぎて見づらそうだった。

でも、川の自浄作用のコーナーでは、内容が難しいにもかかわらず立ち止まった。子供達は矢印に点滅する光に興味を示した。



(3) ビデオ・スタディコーナーでは・・・

うれしそうにVTRを見る子。迷いながら選んで、石・貝・虫を絵にする子。能力的に高い子は自分でどんどんVTRの記録をしたり絵を書いていく。が、やはりVTRの説明の言葉が難しく首をかしげたり、よそ見をする場面もみられた。やはりその子に応じた解説をマン・ツーマンで担任なり、館員がする必要がある。



(4) 自然展示室2では・・・

展示室1に比べ子供の足どりが速い。天然記念物コーナー、「この鳥は？」のスライド、ミツバチの模型以外は、ほとんど自分から見ようとならない。

子供達は、石・花・木には興味を示さない、大型動物やケースに入っていない展示物が少ないためであろうか。

5. 見学を終えて

(1) —— はくぶつかんのくま、なぜてきました。(A男)

(2) —— のビデオを見て、かんしんしました。(B男)

(3) —— はくぶつかんへいきました。れきしのならのみやこのビデオをみました。きょうりゅうと、マンモスと、どうぶつのほねと、さかなと、いしと、ちょうちょと、むしをみました。(C子)

これは、3人の学習後の作文の一部である。博物館学習の目的をかなり達成できたことを、この作文から伺い知ることができる。6人の子にとって博物館が近い存在になったことが最大の収穫と考える。

が、より障害児にとって親しみ易い博物館にするためには、ひらがなで大きく書いた表示や、音声による説明、触れるコーナーの増設、見やすさを考えた照明、簡略化したパネル、同じような色あいの展示物を同じガラスケースの中に入れない展示の仕方などの工夫がされるとよいのではないだろうか。

終りにご協力賜った館員の皆様に感謝します。

第3回 岐博協会員研修会報告

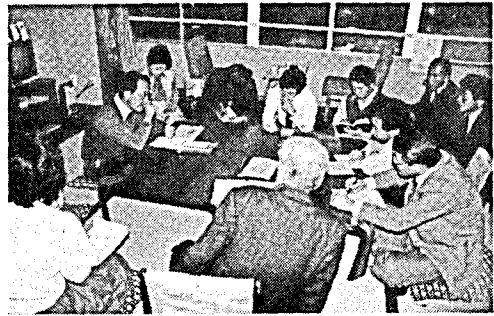
- 「東海の博物館事情～博物館のめざすもの」
講師：名大理学部 糸魚川淳二先生
- 「博物館諸刊行物の企画・実務上の諸問題」
(ポスター・チラシ・図録・解説書等)
会員研修運営委員会

第3回の岐博協会員研修会が、恵那峡にある恵那簡易保険保養センターを会場に開催されました。

3月16日(日)夕刻より、名大の糸魚川先生を講師にお迎えし、「東海の博物館事情～博物館のめざすもの」と題した、ヒザをつき合わせての講演をしていただきました。博物館界の歴史的流れのなかで、現在の姿をとらえ、これからの博物館。未来の博物館はどうあるべきかという極めて有益な、示唆に富むお話を伺うことができました。東海地区、岐阜県下の博物館をつぶさにご覧になり、その問題点・課題等を具体的に指摘されました。その夜の懇親会では、さらにうちとけ、欧米の博物館事情を含めた幅広いお話、時のたつのも忘れるひとときでした。

翌17日には、会員相互の実践をふまえた研修会として、「博物館諸刊行物の企画・実務上の諸問題」にとりくみました。限られた時間、予算のなかで、博物館の印刷物をつくりあげ、いかに効果的に普及活動・PR活動に資するかという、知恵と工夫を披露しあいました。

今回は協会副会長の郷浩氏もご参加下さり、内藤記念くすり博、瑞浪化石博、川島町ふるさと史料館、豊蔵資料館、老田野鳥館、岩村町郷土館、岐阜県博物館の7館から、15名の参加者を得ての研修会となりました。高山から遠路参加された老田野鳥館の和田さんは、「こんなに良い学習の機会に恵まれて、とても充実した2日間でした。博物館のあり方、今後どうしたら良いのか、糸魚川先生のお話は大変参考になりました。そして、多くの仲間、お友達ができ、いろいろな情報交換ができたことも嬉しかったです。でも、参加者がこれだけの



(糸魚川先生のお話を聴く)

は、本当にもったいないですね。もっともっと多くの館から参加していただけて、人の輪が広がるといいですね。」

との感想をもらされました。

県下の博物館施設に働く人々が互いに顔見知りとなり、情報交換をし、協力し合える体制ができると素晴らしいと思います。この岐博協会員研修会がそうした体制・組織づくりのキッカケになればと考えています。今年度も3回の研修会を予定しています。多数、ご参加下さい。

岐博協会員研修会のお知らせ

「博物館教育活動の企画と運営」

於 岐阜市歴史博物館 講座室

○ 期日： 6月28日(土) 13:30～16:30

○ 研修内容

13:30 「博物館教育活動の企画と運営」

話題提供：岐阜市歴史博物館

友田 靖雄氏

15:30

館内見学研修

16:30

昨年度から始めた研修会も好評で、4回目を迎えます。会員各位の自主的な参加を期待しています。本年度の会員研修の予定は下記の通りですので、今から準備をお願いします。

- 12月 資料整理上の諸カード形式と実務処理上の諸問題
- 2月 博物館における写真技術

昭和60年度 岐阜県博物館協会収支決算書

| | | | |
|-------|------------|-------|------------|
| 前期繰越額 | 150,957円 | 支出金 | 1,079,281円 |
| 収入金 | 1,002,294円 | 次期繰越金 | 73,970円 |
| 合計 | 1,153,251円 | 合計 | 1,153,251円 |

収入の部

| 科 目 | 予 算 額 | 収 入 済 額 | 増 減 | 備 考 |
|----------|-----------|-----------|----------|--|
| 前年度より繰越額 | 150,957円 | 150,957円 | 0円 | |
| 会 費 | 515,000 | 456,000 | △ 59,000 | 町立 2館 20,000円 市町村立 37館 185,000円 私立法人 45館 135,000円 個人会員 23人 46,000円 賛助会費(高山市) 50,000円 入会金 4館 10,000円 過年度会費 4館 10,000円 |
| 補助金 | 540,000 | 540,000 | 0 | 県 440,000円岐阜市 100,000円 |
| 雑収入 | 5,000 | 6,294 | 1,294 | ポスター売上 1,080円 預金利息 5,214円 |
| 合 計 | 1,210,957 | 1,153,251 | △ 57,706 | |

支出の部

| 科 目 | 予 算 額 | 支 出 済 額 | 増 減 | 備 考 |
|-----------|-----------|-----------|----------|--------------------------------|
| 事務局費 | 160,000円 | 163,796円 | △ 3,796円 | |
| 通信連絡費 | 130,000 | 107,696 | 22,304 | |
| 会議費 | 5,000 | 0 | 5,000 | |
| 印刷費 | 15,000 | 37,500 | △ 22,500 | |
| 需用費 | 10,000 | 18,600 | △ 8,600 | |
| 機関紙費 | 360,000 | 350,192 | 9,808 | |
| 印刷費 | 200,000 | 186,200 | 13,800 | |
| 送料 | 50,000 | 90,490 | △ 40,490 | |
| 取材費 | 100,000 | 73,502 | 26,498 | |
| 会議費 | 10,000 | 0 | 10,000 | |
| セミナー費 | 160,000 | 141,256 | 18,744 | |
| 開催費 | 120,000 | 100,000 | 20,000 | |
| 印刷費 | 10,000 | 7,000 | 3,000 | |
| 通信連絡費 | 20,000 | 27,656 | △ 7,656 | |
| 会議費 | 10,000 | 6,600 | 3,400 | |
| 三県交流研修費 | 100,000 | 110,710 | △ 10,710 | |
| 東海博協總會費 | 40,000 | 78,504 | △ 38,504 | 会費 10,000円 旅費(横須賀市) 68,504円 |
| 日本博協全国大会費 | 30,000 | 32,672 | △ 2,672 | |
| 總會費 | 50,000 | 53,150 | △ 3,150 | |
| 通信連絡費 | 10,000 | 12,800 | △ 2,800 | |
| 会場費 | 6,000 | 6,500 | △ 500 | |
| 印刷費 | 4,000 | 4,000 | 0 | |
| 食糧費 | 30,000 | 29,850 | 150 | |
| 学芸職員研修会費 | 50,000 | 50,000 | 0 | |
| 学芸技術員講習会費 | 5,000 | 0 | 5,000 | |
| 常任理事会費 | 65,000 | 60,251 | 4,749 | |
| 会議費 | 20,000 | 27,000 | △ 7,000 | |
| 旅費 | 45,000 | 33,251 | 11,749 | |
| 表彰費 | 130,000 | 38,000 | 92,000 | |
| 振替手数料 | 5,000 | 750 | 4,250 | |
| 慶弔費 | 10,000 | 0 | 10,000 | |
| 予備費 | 45,957 | 0 | 45,957 | |
| 合 計 | 1,210,957 | 1,079,281 | 131,676 | |

昭和61年度 岐阜県博物館協会収支予算

収入の部

| 科 目 | 予 算 額 | 前年度予算額 | 増 減 (△) | 備 考 |
|----------|-----------|-----------|-----------|---|
| 前年度より繰越額 | 73,970円 | 150,957円 | △ 76,987円 | |
| 会 費 | 524,000 | 515,000 | 9,000 | 県立 2館 20,000円 市町村 45館 225,000円 私立・法人立 49館 147,000円 個人会員 34人 68,000円 賛助会費(高山市) 50,000円 入会費 7館 14,000円 |
| 補助金 | 640,000 | 540,000 | 100,000 | 岐阜県(運営費) 440,000円 (東海博協総会費) 100,000円 岐阜市(運営費) 100,000円 |
| 雑収入 | 5,030 | 5,000 | 30 | |
| 計 | 1,243,000 | 1,210,957 | 32,043 | |

支出の部

| 科 目 | 予 算 額 | 前年度予算額 | 増 減 (△) | 備 考 |
|-----------|-----------|-----------|----------|---|
| 事務局費 | 170,000円 | 160,000円 | 10,000円 | |
| 通信連絡費 | 130,000 | 130,000 | 0 | |
| 会議費 | 0 | 5,000 | △ 5,000 | |
| 印刷費 | 20,000 | 15,000 | 5,000 | |
| 需用費 | 20,000 | 10,000 | 10,000 | |
| 機関紙費 | 380,000 | 360,000 | 20,000 | 年4回発行 |
| 印刷費 | 200,000 | 200,000 | 0 | |
| 送材料費 | 70,000 | 50,000 | 20,000 | |
| 取会費 | 100,000 | 100,000 | 0 | |
| 会議費 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| セミナー費 | 170,000 | 160,000 | 10,000 | 年4回開催 |
| 開催費 | 120,000 | 120,000 | 0 | |
| 印刷費 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 通信連絡費 | 30,000 | 20,000 | 10,000 | |
| 会議費 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 三県交流研修費 | 18,000 | 100,000 | △ 82,000 | 当番県 三重県 |
| 東海博協総会費 | 180,000 | 40,000 | 140,000 | 総会補助金 100,000円 会費 10,000円 諸経費 70,000円 |
| 日本博協全国大会費 | 50,000 | 30,000 | 20,000 | 北九州市 |
| 総会費 | 55,000 | 50,000 | 5,000 | |
| 通信費 | 15,000 | 10,000 | 5,000 | |
| 会場費 | 7,000 | 6,000 | 1,000 | |
| 印刷費 | 3,000 | 4,000 | △ 1,000 | |
| 食糧費 | 30,000 | 30,000 | 0 | |
| 協会会員研修会費 | 60,000 | 50,000 | 10,000 | |
| 学芸技術員講習会費 | 5,000 | 5,000 | 0 | |
| 常任理事会費 | 65,000 | 65,000 | 0 | |
| 会議費 | 20,000 | 20,000 | 0 | |
| 旅費 | 45,000 | 45,000 | 0 | |
| 表彰費 | 60,000 | 130,000 | △ 70,000 | |
| 振替手数料 | 5,000 | 5,000 | 0 | |
| 慶弔費 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 予備費 | 15,000 | 45,957 | △ 30,957 | |
| 計 | 1,243,000 | 1,210,957 | 32,043 | |

岐阜県博物館協会表彰を4名の方々に！

去る5月14日(木)岐阜県市町村会館で開催された岐博協総会において、下記の4名の方々が協会表彰を受けられました。

竹村 信弘殿(前岐阜市少年科学センター館長)

常任理事として、協会の運営事業の発展に寄与されました。

奥村 好次殿(瑞浪化石博物館職員)
博物館に永年勤務され成績優秀でした。

小野 孝一殿(前岩村町郷土館職員)
郷土館に永年勤務され成績優秀でした。

那波 秀雄殿(前岐南町歴史民俗資料館館長)
資料館の経営に熱意をもって当たり、民俗資料館活動の振興に努められました。

以上4名の方々の受賞をお知らせするとともに、心よりお祝いお喜び申し上げます。

— 編集委員会 —

昭和61年度 岐博協セミナーのご案内

本年度のセミナーは、下記の4回が予定されています。その都度案内通知がされますが、多数のご出席を期待しています。

第1回 4月25日 高山市会場で終了

第2回 8月2日 美並村

○郡上郡美並村星宮神社を観覧、講師として護国神社 宮司 森 盤根氏を予定

第3回 10月 岐阜県博物館

○特別展「ふるさとの祭り」の観覧

第4回 12月 海津町

○薩摩義士関保遺跡見学、及び講演予定

また、第11回三県博物館協会交流研修会が三重県で開催されます。第34回全国博物館大会は北九州市を会場に開催されますので、積極的に参加されるよう望みます。

— セミナー委員会・事務局より —

役員の一部変更のお知らせ

昭和61~62年度の2年任期の役員が、今春の人事異動等により一部下記のように変更になりました。

常任理事 浅井悦夫(岐阜市少年科学センター)

小川弘一(岐阜市歴史博物館)

渡辺辰己(可児郷土歴史館)

梶田立夫(土岐市美濃陶磁器歴史館)

銅島大衍(飛騨民俗村)

藤井礼一(藤井美術民芸館)

安藤志郎(機関紙委員会委員長)

理事 古川茂樹

板谷静夫(合掌造り生活資料館)

事務局員 尾野元啓(岐阜県博物館)

機関紙委員長 安藤志郎(同上)

セミナー委員 浅井悦夫(岐阜市少年科学センター)

小川弘一(岐阜市歴史博物館)

塚本 修(土岐市美濃陶磁器歴史館)

銅島大衍(飛騨民俗村)

新入会館園

金山町郷土館

蛭川村郷土資料館

(財)豊蔵資料館

岐阜地質コンサルタント

半原版画館

くすり博物館 新館竣工 今秋オープン

10月10日の仮オープンにむけ着々と準備を進めております。(正式には11月下旬の予定)

新館はすべて展示場となり、常設展示室のほかに219㎡の企画展示室も設置されます。本館は図書室、収蔵庫、エーザイのPR室となります。

これらの展示準備や、本館の改装工事のため6月1日～10月9日まで一時休館いたします。なお、付属薬用植物園は従来どおりご利用いただけます。また、博物館に入る門が変わりました。川島工園の正門から東へ700mのところの博物館専用門からお入りください。

豊蔵資料館 「豊蔵をしのぶ展示」

8月中旬、荒川豊蔵の遺品を集めた展示を企画しています。作品としてつくりあげられた焼物ではなく、その焼物を作るための道具、ハケ、コテ、筆、画帳などから、豊蔵の人と芸術にふれていただけたらと思っています。ご期待ください。

岐阜市歴史博物館

「暮らし いまむかし」

○ 6月7日(土)～8月31日(日)

明治・大正・昭和それぞれの時代の生活用品を見比べ、おじいちゃんおばあちゃんの子どもの頃の時代を考えます。

岐阜県美術館

「英国・国立ウェールズ美術館展」

○ 7月26日(土)～8月24日(日)

～イギリス風景画から印象派へ～

ミレー、ピサロ、ルノアール、ゴッホ等

岐阜県博物館

「奥飛驒の自然－笠ヶ岳連峰を中心に－」

○ 7月23日(土)～9月15日(日)

笠ヶ岳の自然を総合的に展示紹介します

○ 8月10日(日) 講演会

「奥飛驒の山々を語る」

山岳写真家 小池 潜氏

機関紙編集委員会より

- ◇ 編集委員長が交代し、新たに編集委員に岐阜市歴史博物館土山公仁氏が加わりました。次号から博物館人登場、館園紹介など内容を充実させていきたいと考えています。編集委員が、各館園などを訪問し取材の折には協力をお願いします。また、ぜひこの人を博物館人登場にという推薦がございましたら連絡くださいますようお願いいたします。
- ◇ 年4回の発行予定ですが、原稿が不足し困っています。日頃博物館について考えておられること、協会への意見、それぞれの館園で実践しておられること、気楽にご寄稿下さい。
- ◇ 催し物など県内ニュースの内容が岐阜市周辺部に集中しています。今後、飛驒・大濃・西濃に通信員を依頼する予定ですが、会員館園は、この紙面を利用してどんどんPRして下さい。

編集後記

◎編集長が交代して、内容がダウンしたと言われぬかと心配ですが、発行が遅れないようがんばりたいと思います。岐阜市歴史博物館が主力メンバーに加わりましたので大変心強くなりました。(S.A)

◎どの館園も、いかに「物」を展示するか、入館園者を増やすか、それぞれの立場で苦勞されている様子、ぜひとも本紙で取り上げたい内容です。(S.A)

◎ロシアの博物館をかいま見て、「もの」の豊かさに驚かされるとともに、「ヒト」の充実にも目を丸くしました。ちなみに、レニングラード動物博の職員は400余名とのこと。専門職としての地位の高さと層の厚さが、真の博物館を支えている気がします。(M.I)